

新潟医療生活協同組合機関紙



新潟医療生協

421

発行責任者
猪 股 成 美
毎月1日発行(月刊)
定価20円
機関紙「新潟医療生協」の
購読料は出資金に含まれる
ものとする。



新潟医療生活協同組合 〒950-0891 新潟市東区上木戸5丁目2番1号

TEL.274-7139

2012年1月1日【第421号】

<http://www.kido-hp.com>

あけましておめでとうございます

人々のきずなを強め「医・福・食・住」の事業と活動をひろげ、
誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざします。



2012.1.1

協 同



理事長
猪 股 成 美



昨年は長年待望してきた木戸病院の移転・新築が完成しました。組合員の熱い思いを込めた、大変な努力の賜物と喜ぶとともに誇りに思っております。「安心・安全のまちづくり」を大きく前進させる大事業を協同の力で成功させることができました。国、県、市をはじめ、多くの業者の援助にも深く感謝いたします。

それにしても東日本大震災と原発事故に関して「被災者を主人公とする」復興が大幅に遅れている現状に心を痛めない国民はいないと思います。私たちの「まちづくり」事業の成功が被災地の皆さん、医療福祉協会の皆さんへの支援になるものと確信しています。また東電原発事故被災にも、新潟水俣病に関する当生協の運動は手本になることでしょう。

新しい年を迎え、当生協は多くの困難に直面することになっております。政府は「消費税増税と社会保障の一体改革」を行う方針です。年金の大改悪、医療改悪では医療費の3%減を目的に負担増と受診抑制、介護でも負担増と利用制限が計画されています。失業者、貧困者が増える中で消費税を2倍にするなど枚挙に暇がない過酷なものです。環太平洋連携協定(TPP)に参加すれば国民の保険が崩壊する危険があります。

これらの諸困難に打ち勝つには組合員の要望に応え、民主的運営を貫き、役職員、組合員が団結して困難に立ち向かうことではないでしょうか。

新病院の活用を



木戸病院院長
矢 田 吾 吾



昨年7月に新木戸病院が開院し半年が経過しました。新病院の建設、その後の運用に多くの方々にご支援ご協力をいただき、大変ありがとうございました。

病院の上層階からの眺望はすばらしく、西南方向に角田山、弥彦山が鎮座、西には日本海に浮かぶ佐渡ヶ島、そして北東に飯豊連峰、東には五頭山系の山々が並び、診療の途中にはつと一瞬が過ぎます。

新病院への交通の便が良くなり、病床周辺の広さ、廊下の幅と静かさ、そしてプライバシーの確保など療養環境が改善され、外来や入院の利用が増え、改めて新病院に対する地域、組合員の方々の期待の大きさを感ずっています。

一方、外来受診時の待ち時間の長さ、急患受診希望時の対応ができない時があったり、院内の案内や環境整備の不十分さなど皆さまに迷惑をおかけする点も多々あり、関係部署で工夫改善を進めていきます。

改善にとって医師確保が重要となります。現在、木戸病院の常勤医師は33名ですが、各科とも少ない医師数で外来や入院診療、検査、手術、時間外診療および日直直などを行っており、各医師に身体的、時間的負担をかけており、新たな医師確保そして看護師の補充も大きな課題です。改善に向け、さらに努め、新病院の活用を高めていきます。

皆さまにがんばっていただき、新潟医療生協は大きく育ち、夢であった4万人組合員達成も実現近しい状況になっています。生協に加入し、個人、家族、地域の元気が高まり、暮らし良い地域づくりが進んだと言える一年にしたいものです。

皆さまにとって良い一年であることを祈念します。

ようこそ新潟医療生活協同組合へ — 新任医師のご紹介 —

よろしくお願ひします。

妊婦健診、分娩を中心に
診療を担当



産婦人科医長
能仲 太郎

平成14年新潟大学医学部卒業後、新潟大学産婦人科学教室入局。平成23年5月より当院に赴任しました。日本産婦人科学会産婦人科専門医、日本周産期・新生児医学会周産期・母体胎児専門医、周産期学、生殖医学が専門です。当院では妊婦健診分娩を中心に診療を担当しています。よろしくお願ひいたします。

地域の「脳の健康」に
取り組んでいきたい



神経内科部長
高橋 俊昭

新潟市出身。平成7年新潟大学医学部卒業後、新潟大学脳研究所神経内科に入局。神経変性疾患の分子病態の研究に取り組んでおりました。平成23年8月より当院に赴任し、脳血管疾患や認知症、神経変性疾患などの神経疾患を担当いたしております。地域の「脳の健康」に取り組んでいきたいと思ひます。

消化器がんの低侵襲治療を
行っています



外科部長
新保 雅宏

昭和61年富山医科大学(現富山大学)卒業。同第二外科入局。関連病院である当院へ平成23年10月着任いたしました。胃および大腸、直腸、肛門の手術を専門とし、内視鏡、腹腔鏡を中心とした消化器がんの低侵襲治療を行っています。お気軽にご相談ください。

Information

● 住 場
所 所
新潟市東区竹尾4丁目
13番3号
電話 025・273・2151(代表)

● 新潟医療生活協の「なんでも相談」
日ごろ、困っていることや悩み、医療、福祉、保険など、なんでも相談してください。面談や電話、手紙でも結構です。秘密は固く守られます。
● 相談担当 飯塚孝子(新潟市議会議員)
1月14日(土) 2月はお休み
午前10時〜12時
渡辺有子(新潟市議会議員)
1月28日(土) 2月25日(土)
午前10時〜12時
木戸病院 1階相談室
新潟市東区竹尾4丁目
13番3号

● 職員募集
《木戸病院》
看護師・薬剤師(正職・パート)
視能訓練士・臨床検査技師(パート)
《石山訪問看護ステーション》
看護師(パート)
《石山訪問看護センター》
訪問介護員(嘱託)
● 問い合わせ 総務課 桑野
電話 273・2151
(内線3122)

第8回 生協学校 2日目のお知らせ

日時 平成24年2月25日(土)
午前9時〜
会場 新潟医療生活協同組合
木戸病院
アネックス棟3階 講堂
内容 現場で働く医療生協人
医療生協を知ってください!!
● 専門委員会報告
● 組合員活動報告 など



「めざす医療」を組合員とともにすすめる
一緒に働く医師・看護師をご紹介ください

木戸病院の理念

協同相互の精神に基づき、組合員、地域住民の医療・保健・衛生・福祉の向上を図る。

基本方針

- 1 生涯にわたる健康管理活動の支援
- 2 生活習慣病の予防と早期発見
- 3 「患者の権利章典」の豊かな実践
- 4 診療情報の開示
- 5 全人的医療指

お知り合いの医師・看護師を紹介してください。
地域訪問活動でお声かけくださいますようお願いいたします。

一緒に地域医療を育て、深めていきましょう!

みんなで作る。
健康をつくる。
みんなの病院。



東日本大震災支援募金に
ご協力をお願いします

放射線測定器を送ります

支援金振込先 第四銀行 木戸支店
普通預金 1401980
新潟医療生活協同組合 震災義援金
理事長 猪股成美

健康のえき 新潟医療生協 2011年 新たな1ページを刻んだ年 そして2012年 一步一步確実に!更なる歴史を刻む年に!

6/3~6



竣工内覧会に延べ10,000名が参加

エントランスホールでは舞台が用意され、沖縄の三線や木戸中学校吹奏楽部などたくさんの発表が行われ、新しい病院を見学し竣工を祝いました。

2012



7/1



新木戸病院開院の日を迎えました

役職員の手でテープカットが行われ、新木戸病院開院スタートしました。また、新潟交通の「木戸病院」2路線のバス運行が始まりました。病院の敷地内で始発・終着となり長年の念願がまた一つ叶った瞬間でした。



7月1日入院患者さんもお引越です

7/16



竣工祝賀会が行われました。

1,000名の参加で木戸病院の歴史を振り返り、組合員の皆さんと一緒に365歩のマーチを踊り竣工を祝いました。

10/9



第31回健康まつり

健康チェックコーナーでは2,300名の方が血管年齢や骨密度を測定。地域の方々の芸能発表。青空に澄み渡る「夏川りみ」さんの歌声。5,655名の参加でした。

11/5



第17回千人会議

130名の参加で行われた千人会議。前進座6代目河原崎國太郎さんを迎え歌舞伎公演の成功と組織強化月間の目標達成に向けて語られました。

12/5



前進座「毛抜」「水沢の一夜」公演

昼夜2回公演が行われ1500人の参加。「毛抜」では煌びやかで、歴史のある歌舞伎で日本の伝統に触れ、感動で涙がこぼれた「水沢の一夜」を鑑賞しました。

医療生協の健康観



専務理事
鈴木 克夫



「昨日よりも今日がそして明日が、いっそう意欲的に生きられる。そうしたことを可能にするため、自分を変え、社会に働きかける。みんなが協力し合って楽しく明るく積極的に生きる。」これは「医療生協の健康観」である。人間、一人では、健康にも、幸福にもならないことを気づかせてくれた言葉として、私は好きです。

昨年は「介護難民」「買い物難民」「住宅難民」「お産難民」「就職難民」という言葉や、難がつく言葉が港に溢れました。

超高齢者社会の到来や格差社会の進行、人口減少などの社会の急激な変化のなかで、それまでの生活ができないう人々が「一気」にあふれている。従来のしくみや考え方で解決できないからこそ、こうした言葉が氾濫するのでしよう。

当然のように、私たちに期待される役割もきつと変わっているはず。『自らの医療機関を持つ』『自分の健康に関心を持つ』『自覚的な人々』の運動というだけでは、地域の期待に応えられなくなっていると思います。

『ひとびとのきずなを強め』『医(福)・食・住』の事業と活動を広げて、安心して住み続けられるまちをつくらう』は、新潟医療生協の今年度方針です。

社会的連帯と共同の力で、生協らしく事業と運動を一体化しながら、その実践が求められます。

医療生協の健康観を力にして、「支部活動が地域に見えること」、「1支部1助け合い」の活動に取り組み、新年も、組合員・職員が力を合わせて雄々しく進んでいきましょう。



拡大行動に向けて

2011年は夢が形になった記念すべき年となり、新しい歴史の1ページが始まった年でした。

また、木戸総支部では「支部を強く」と支部づくりを目指した1年でもありました。小回りがきき、目配り・気配りの届く支部にしようと、支部分割が行われました。新たな取り組みの中で、支部が知恵と力を出し合い、成し遂げた前進の年となりました。

2012年は辰年。組合員の皆さんと一緒
に支部をさらに強く大きく、活発に活動し、
龍のように上昇して行きたいと思えます。

木戸総支部 総支部長 二膳富平

2011年は木戸病院が立派な病院に生まれ変わりましたが、待ち時間が非常に長いなど、さまざまな課題があります。これからは組合員さんの力を借りながら病院を支えていかなくては...と思っております。木崎総支部では地域交流として毎年カラオケ大会を盛大に開催し、広い地域の交流を行っています。この会を張り合いに待っている組合員の皆さんのためにも、2012年は総支部の活動をもっと活発に、そして拡大行動を大きく広めてがんばりたいと思います。

木崎総支部 総支部長 青木実



上町お茶の間

新病院新築の年に新支部長となり、身を引きしめる思いです。私は月2回通院しております。玄関を入ると看護師さんの朝のあいさつがあります。大変ですが、ぜひ続けてもらいたいと思っております。組合員一同、力を合わせて木戸病院の益々の発展を祈ると共に、組織の強化、組合員の増強、増資に尽力したいと思っております。2012年は木戸病院が地域の病院として益々発展することを願っております。それには何よりも健診を受診することが第一だと思っております。皆さんも振るって健診を受けましょう。

横越総支部 総支部長 大森勉治

総支部からのメッセージ

さあ!!
ラストスパート

組織強化目標達成に向けて!
特質が異なればこそ前進を!

2011年度組織強化目標
目標まであと...

仲間増やし 2,000名 出資金 30,000万円
新規組合員 773名 出資金 21,529万円 (11月30日 現在)



岡方小学校 衛生指導

2011年、考えてみるとあつという間に過ぎたように思います。たくさん行事に参加し、何とも言えぬ充実感と達成感を強く感じた1年でした。しかしまだ年度の途中です。目標達成に向けてがんばりたいと思います。

岡方総支部 総支部長 皆川博

立派な病院ができ、関係者の皆さまにはご苦労されたと思います。改めて敬意と感謝申し上げます。これからは地域のため、サービスと健康管理に気を配っていただきます。

大江山

総支部長 三浦澄郎

2011年を振り返ってみると、公私ともにとても忙しい年でした。しかし、新しく大きな病院が完成した年でもありませんでした。

2012年今後は安定経営を目指し、支部でも組合員の健康を守る取り組みを進めていきたいと考えています。

特に東日本大震災では大きな被害をもたらした目に見えない恐怖の原発に不安な気持ちを抱えている方も多いと思います。支部で学びの機会を設けて行きたいと考えています。

大形総支部 総支部長 松原文一